

他社年賀状ソフトの宛名データを移行する

Windows 版の他社年賀状ソフトの住所録データを、宛名職人で利用する方法について解説します。

Windows パソコンから Macintosh へのデータの移動には USB メモリを使用します。

なお、年賀状を「送った」「受け取った」などの履歴を移行することはできませんのでご了承ください。

※宛名職人 Windows 版（アジェンダおよびソースネクスト）の住所録データを移行する場合、「宛名職人 Windows 版の住所録データを移行する」（8 ページ）に記載の方法に従ってください。

1. 用意するもの

作業を開始する前に以下のものを用意してください。

Windows パソコン	お使いの年賀状ソフトがインストールされているパソコンです。 USB メモリを使用するため、Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista / Windows XP で、USB ポートのあるパソコンが必要です。
Macintosh と宛名職人	Macintosh とお使いになる宛名職人（Macintosh 版）です。
USB メモリ	住所録データを Windows パソコンから Macintosh に移行するための記憶媒体です。

2. 移行前の準備

上記のものを用意したら、以下の準備を行ってください。

Windows パソコン	移し替えたい住所録データが、Windows パソコン内にあるか確認します。 年賀状ソフトのマニュアルを参考に、住所録ファイルの保管場所を確認してください。 多くの年賀状ソフトでは、「ドキュメント」（Windows XP では「マイ ドキュメント」）にデータがあります。
Macintosh と宛名職人	作業を開始する前に、あらかじめ宛名職人をインストールしてください。
USB メモリ	Windows パソコンでデータが書き込めるかを確認してください。 もし書き込めない場合は、Windows パソコンで USB メモリを FAT32 でフォーマット（ディスクの初期化）してください。

3. Windows パソコンの年賀状ソフトで宛名データを書き出す

Windows パソコンの年賀状ソフトを用いて、住所録データを ContactXML 形式、またはカンマ区切り (CSV) 形式のファイルで書き出します。

住所録データの書き出し方法は、お使いの Windows 版の年賀状ソフトによって異なります。

次に示す手順に従って操作してください。

ご注意：

Windows パソコンにインストールされている年賀状ソフトの詳細な操作方法や、宛名データを保管している場所については、それぞれの年賀状ソフトのマニュアルをご覧ください。

<p>筆まめ Ver.13/Ver.14 (クレオ)</p>	<ol style="list-style-type: none">1) 筆まめを起動します。2) 読み込みたい住所録を開き、上部にある [ファイル] メニューの [他の住所録形式で保存] から [他の住所録形式で保存] ダイアログを開きます。3) [他の住所録形式で保存] ダイアログの [形式] リストボックスから [ContactXML 形式ファイル (.xml)] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。4) ダイアログ中央右側のフォルダアイコンをクリックします。5) 表示された [他の住所録形式で保存] ダイアログで保存するファイル名を入力し [保存] ボタンをクリックします。6) [他の住所録形式で保存] ダイアログで [次へ] をクリックします。保存対象カードの [全カード] が選択されていることを確認し、[完了] ボタンをクリックします。7) ContactXML ファイルの出力が完了したら、筆まめを終了します。
<p>筆まめ Ver.15/Ver.16 /Ver.17/Ver.18 /Ver.19/Ver.20 /Ver.21/Ver.22 /Ver.23 (クレオ)</p>	<ol style="list-style-type: none">1) 筆まめを起動します。2) 読み込みたい住所録を開き、上部にある [ファイル] メニューの [他の住所録形式で保存] から [他の住所録形式で保存] ダイアログを開きます。3) [他の住所録形式で保存] ダイアログから [ContactXML 形式ファイル (*.xml)] をクリックします。4) [他の住所録形式で保存] ダイアログで、保存するときのファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックします。5) 保存対象カードから [すべてのカード] を選択して、[開始] をクリックします。6) ContactXML ファイルの出力が完了したら、筆まめを終了します。

<p>筆王 2004/2005/2006 /2007/2008 (アイフォア) および 筆王 2008/ZERO/Ver.15 /Ver.16/Ver.17 (ソースネクスト)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 筆王を起動します。 2) 読み込みたい住所録を開き、[ファイル] メニューの [住所録] > [書き出し] (バージョンによっては [他形式ファイルに書き出し]) から、[書き出しデータの選択] ダイアログを開きます。 3) [住所録ファイル中のデータすべて] を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。 4) [データの書き出し] ダイアログの [データの種類] リストボックスから [ContactXML1.1a ファイル (*.xml)] を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。 5) [ファイルの選択] ダイアログで [参照] ボタンをクリックすると [名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。保存するファイルの名前を入力して [保存] ボタンをクリックします。 6) [ファイルの選択] ダイアログで [次へ] をクリックします。 7) ContactXML ファイルの出力が完了したら、筆王を終了します。
<p>筆ぐるめ Ver.13/Ver.14 /Ver.15/Ver.18 /Ver.19/Ver.20 (富士ソフト)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 筆ぐるめを起動します。 2) 上部にあるタブメニューで [おもて (宛て名)] をクリックします。 3) 画面の上部にある [住所録] をクリックし、画面中央の住所録が一覧表示してある部分で、対象となる住所録をダブルクリックして内容を表示します。 4) 再度画面の上部にある [住所録] をクリックし、対象となる住所録が選択されている事を確認します。 5) 住所録が一覧されている部分の上にある [保存] ボタンの右にある下向きの三角のマークをクリックし、[別形式保存] をクリックします。 6) [筆ぐるめ - 住所録データの別形式保存] ダイアログから [ContactXML Version1.1a 形式] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。 7) [xml ファイルの選択] ダイアログで書き出す XML ファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックします。 8) ContactXML ファイルの出力が完了したら、筆ぐるめを終了します。
<p>筆ぐるめ Ver.16/Ver.17 (富士ソフト)</p>	<p>筆ぐるめ Ver.16/Ver.17 は ContactXML 形式の書き出しには対応しておりませんので、カンマ区切り (CSV) 形式でデータを書き出し、そのあと宛名職人で読み込んでください。カンマ区切り (CSV) 形式で書き出す手順は「筆ぐるめ」のマニュアルを参照してください。カンマ区切り (CSV) 形式のファイルを読み込む手順は「CSV 形式のファイルを宛名職人で読み込む」(11 ページ) の手順 4 に記載しています。</p>

<p>はがきスタジオ 2005/2006/2007 (マイクロソフト)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) はがきスタジオを起動します。 2) 読み込みたい住所録を開き、[ファイル] メニューから [住所録の書き出し] > [ContactXML ファイルへ] を選択します。 3) 表示された [住所録の書き出し:ファイル] ダイアログで、保存するファイルの名前を入力して、[保存] ボタンをクリックします。 4) ContactXML ファイルの出力が完了したら、はがきスタジオを終了します。
<p>楽々はがき 2006/2007/2008 /2009/2010/2011 /2012/2013</p>	<p>楽々はがきは ContactXML 形式の書き出しには対応しておりませんので、カンマ区切り (CSV) 形式でデータを書き出し、そのあと宛名職人で読み込んでください。</p> <p>カンマ区切り (CSV) 形式で書き出す手順は「楽々はがき」のマニュアルを参照してください。</p> <p>カンマ区切り (CSV) 形式のファイルを読み込む手順は「CSV 形式のファイルを宛名職人で読み込む」(11 ページ) の手順 4 に記載しています。</p>

4. Windows パソコンで住所録データを USB メモリにコピーする

前の手順で書き出した ContactXML 形式のファイルを、以下の手順で USB メモリにコピーします。

① USB メモリを Windows パソコンの USB ポートに接続します

• Windows 8、Windows 7、Windows Vista の場合

USB メモリを Windows パソコンの USB ポートに接続すると、「自動再生」ダイアログが表示されます。

[フォルダを開いてファイルを表示] をクリックすると、エクスプローラのウィンドウが開きます。

• Windows XP の場合

右図のようなダイアログが表示されます。

[フォルダを開いてファイルを表示する] を選択し、[OK] ボタンをクリックすると、エクスプローラのウィンドウが開きます。

• ダイアログが表示されない場合

ダイアログが表示されない場合は、「コンピューター」（Windows XP では「マイ コンピュータ」）を表示し、USB メモリのリムーバブルディスクのアイコンをダブルクリックしてください。

② 書き出した ContactXML 形式のファイルを USB メモリにコピーします

書き出した ContactXML 形式のファイルのアイコンを、USB メモリのアイコンまでマウスでドラッグし、マウスのボタンを離します。

③ コピーが完了したらウィンドウをすべて閉じます

コピーが完了したら、USB メモリの内容を表示しているウィンドウをすべて閉じます。

④ ハードウェアの安全な取り外しを行います

画面右下のタスクトレイにある、「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。



Windows Vista 以降ではこのアイコンです



Windows XP ではこのアイコンです。

ポップアップメニューから「USB 大容量記憶装置を取り外します」を選択します。
「安全に取り外すことができます。」とメッセージが表示されたら、USB メモリをパソコンから取り外します。

ご注意：

USB メモリを取り外す際には、必ず上記③～④の手順どおり操作してから取り外してください。
この操作を行わずに USB メモリを取り外すと、データが消失したり、USB メモリが破損する恐れがあります。

5. USB メモリから Macintosh に住所録データをコピーする

ContactXML 形式のファイルをコピーした USB メモリを Macintosh に接続し、ファイルを Macintosh のハードディスクにコピーします。

- ① USB メモリを Macintosh の USB ポートに接続します
- ② Dock の Finder アイコンをクリックします
Finder ウィンドウが表示されます。
- ③ Finder のサイドバーの「デバイス」から USB メモリを選択します
USB メモリを選択すると、Windows パソコンでコピーした ContactXML 形式のファイルが表示されます。
- ④ Finder の「ファイル」メニューから「新規 Finder ウィンドウ」を選択します
Finder のウィンドウが表示されたら、Finder の「移動」メニューから「書類」を選びます。
- ⑤ USB メモリ中のファイルをハードディスクの「書類」フォルダにコピーします
USB メモリ中の ContactXML 形式のファイルのアイコンをドラッグし、「書類」のウィンドウに移動し、マウスボタンを離します。
- ⑥ コピーが完了したら Finder のサイドバーの「デバイス」から USB メモリを選択します
Finder の「ファイル」メニューから「(USB メモリの名称)を取り外す」を選択し、アイコンの表示が消えたら Macintosh から USB メモリを取り外します。

ご注意：

USB メモリを取り外す際には、必ず上記⑥の手順どおり、USB メモリを取り外してください。この操作を行わずに USB メモリを取り外すと、データが消失したり、USB メモリが破損する恐れがあります。
また、「使用中のため取り出せませんでした」とのメッセージが表示された場合は、Mac OS X を再起動すると取り外せるようになります。

6. 宛名職人に読み込む

Macintosh にコピーした ContactXML 形式のファイルを宛名職人に読み込みます。なお、ContactXML 形式のファイルを宛名職人に読み込む手順は、以下の FAQ ページでもご覧いただけます。

URL : <http://faq.agenda.jp/index.php?action=artikel&id=4962>

① 宛名職人を起動します

テンプレートセレクタが表示されたら、[閉じる] ボタンをクリックして、テンプレートセレクタを閉じてください。

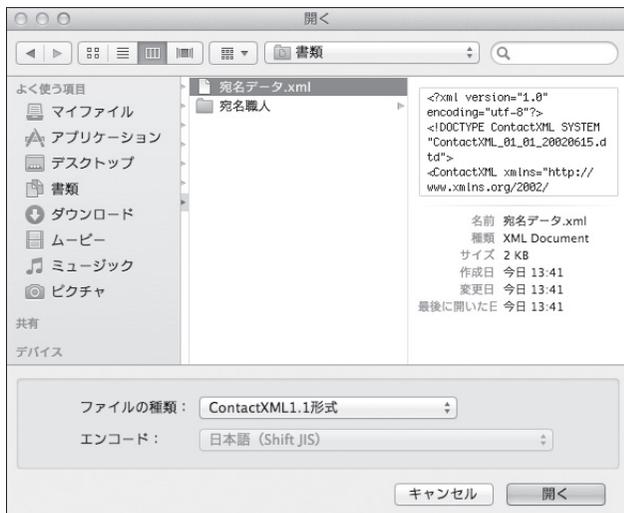
② [ファイル] メニューの [開く] を選択します

[開く] ダイアログが表示されたら、[ファイルの種類] ポップアップから“ContactXML1.1形式”を選びます。また、ファイルリストに“書類”フォルダの内容を表示させます。

ファイルリストに、USB メモリからコピーしたファイルが表示されます。

③ USB メモリからコピーしたファイルを開きます

コピーしたファイルを選び、[開く] ボタンをクリックします。[開く] ダイアログが閉じ、住所録のウィンドウが表示されます。



④ 読み込んだ住所録を保存します

[ファイル] メニューの [保存] を選ぶと、[保存] シートダイアログが表示されます。[名前] に任意のファイル名を設定し、保存場所を確認して、[保存] ボタンをクリックしてください。住所録がファイルに保存されます。

「筆まめ」は株式会社クレオの登録商標です。「筆王」はソースネクスト株式会社の登録商標です。「筆ぐるめ」は富士ソフト株式会社の登録商標です。「楽々をはぎ」はジャストシステム株式会社の登録商標です。「宛名職人」は株式会社アジェンダの登録商標です。Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

宛名職人 Windows 版の宛名データを移行する

「宛名職人」(Windows 版)の住所録データを、宛名職人で利用する方法について解説します。

Windows パソコンから Macintosh へのデータの移動には USB メモリを使用します。

なお、「宛名職人 2009 Premium」以前の宛名職人では、年賀状の送受などの履歴を移行することはできませんのでご了承ください。

1. 用意するもの

作業を開始する前に以下のものを用意してください。

Windows パソコン	宛名職人 (Windows 版) がインストールされているパソコンです。 USB メモリを使用するため、Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista / Windows XP で、USB ポートのあるパソコンが必要です。
Macintosh と宛名職人	Macintosh とお使いになる宛名職人 (Macintosh 版) です。
USB メモリ	住所録データを Windows パソコンから Macintosh に移行するための記憶媒体です。 移行するデータより大きい容量のものがが必要です。

2. 移行前の準備

上記のものを用意したら、以下の準備を行ってください。

Macintosh と宛名職人	作業を開始する前に、あらかじめ宛名職人をインストールしてください。
USB メモリ	Windows パソコンでデータが書き込めるかを確認してください。 もし書き込めない場合は、Windows パソコンで USB メモリを FAT32 でフォーマット(ディスクの初期化)してください。

3. Windows パソコンで宛名職人 Windows 版の住所録データを書き出す

宛名職人 Windows 版の住所録データを「ContactXML 形式」で書き出します。

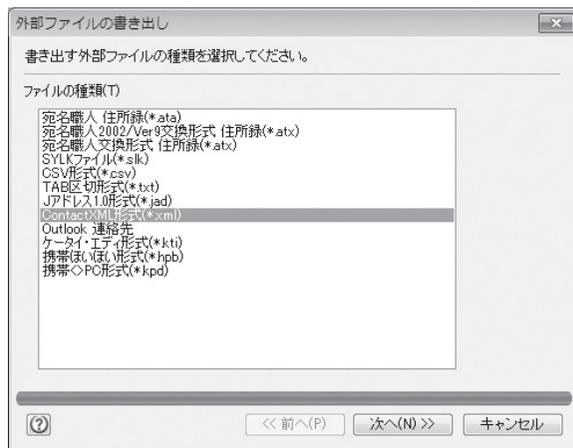
① 宛名職人を起動します

宛名職人が起動したら、移行したい住所録を開きます。

② [ファイル] メニュー> [データ書き出し] を選択
[データ書き出し] メニューを選択すると、右図の「外部ファイルの書き出し」ダイアログが表示されます。

③ “ContactXML 形式 (*.xml)” を選ぶ

ダイアログで“ContactXML 形式 (*.xml)” を選び、[次へ(N)] ボタンをクリックします。



④ 次の画面 (右図) で [参照] ボタンをクリック

[参照] ボタンをクリックし表示されたダイアログで書き出すファイルの名称と保存場所を指定します。

※すべての住所録データを書き出すには、[書き出すカード:] で“すべてのカードを書き出す”を選びます。

⑤ 右図の画面で [次へ(N)] ボタンをクリックします

[次へ(N)] ボタンをクリックし、次に表示された画面で、[実行] ボタンをクリックすると住所録データが書き出されます。

⑥ 書き出しの完了

書き出しが完了したら、宛名職人を終了します。



4. 書き出した Windows パソコンから必要なファイルを Macintosh にコピーします

この手順は、「他社年賀状ソフトの住所録データを移行する」の場合と同様ですので、「4.Windows パソコンで住所録データを USB メモリにコピーする」(5 ページ) や「5.USB メモリから Macintosh に住所録データをコピーする」(6 ページ) の解説に従って操作してください。

5. 宛名職人に読み込む

Macintosh にコピーした ContactXML 形式のファイルを宛名職人に読み込みます。

この手順は、「6. 宛名職人に読み込む」(7 ページ)

なお、ContactXML 形式のファイルを宛名職人に読み込む手順は、以下の FAQ ページでもご覧いただけます。

URL : <http://faq.agenda.jp/index.php?action=artikel&id=4962>

① 宛名職人を起動します

テンプレートセレクタが表示された場合、[閉じる] ボタンをクリックして、テンプレートセレクタを閉じてください。

② [ファイル] メニューの [開く] を選択

[開く] メニューを選択し、「開く」ダイアログが表示されたら、[ファイルの種類] ポップアップリストで“ContactXML1.1 形式” を選びます。また、ファイルリストに“書類” フォルダの内容を表示させます。

ファイルリストに、USB メモリからコピーしたファイルが表示されます。

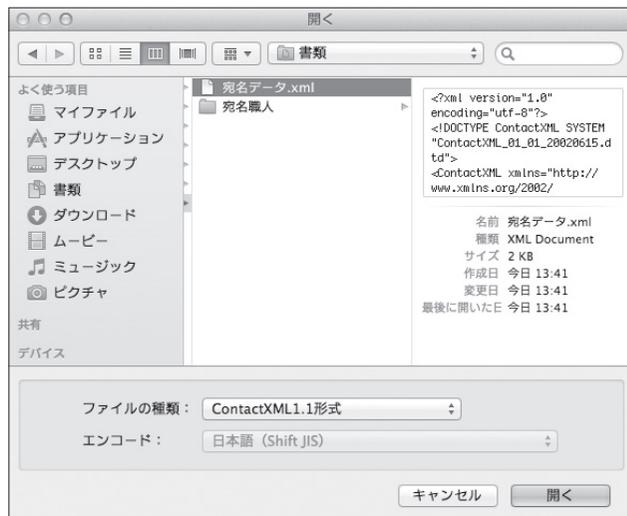
③ USB メモリからコピーしたファイルを選びます

USB メモリからコピーしたファイルを選び、[開く] ボタンをクリックします。

[開く] ダイアログが閉じ、住所録のウインドウが表示されます。

④ 読み込んだ住所録を保存します

[ファイル] メニューの [保存] を選ぶと、[保存] シートダイアログが表示されます。[名前] に任意のファイル名を設定し、保存場所を確認して、[保存] ボタンをクリックしてください。住所録がファイルに保存されます。



CSV 形式のファイルを宛名職人で読み込む

CSV 形式で出力した住所録データを、宛名職人で利用する方法について解説します。
Microsoft Excel 2007 を例に、宛名職人で読み込む手順について解説します。

1. 用意するもの・準備

作業を開始する前に以下の準備を行ってください。

- Microsoft Excel 2007 (Windows 版)

住所録データが登録されている Microsoft Excel 2007 のファイルを用意してください。

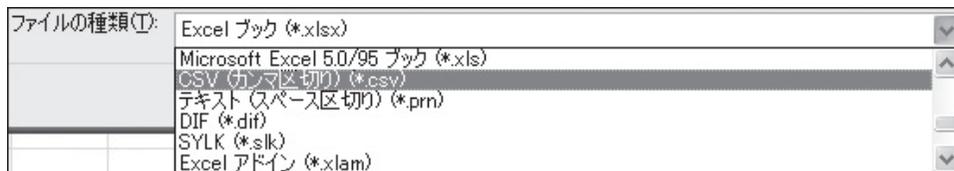
- それ以外の準備

「他社年賀状ソフトの住所録データを移行する」(1 ページ) の場合と同様です。

2. Windows パソコンで、Microsoft Excel 2007 の形式から CSV 形式に書き出す

宛名職人 Windows 版を用いて、Microsoft Excel 2007 の形式から CSV 形式に住所録データを書き出します。

- ① Microsoft Excel 2007 を起動して、住所録データが登録されている Excel ファイルを開きます
- ② 住所録データが登録されているシートを選択して、メニューから [名前を付けて保存] を選択します
- ③ [ファイルの種類] ポップアップリストから、[CSV (カンマ区切り)] を選択します



- ④ 保存先を決めてファイル名を入力し保存ボタンを選択すると、保存先に CSV 形式のファイルが書き出せます

3. 書き出した CSV 形式のファイルを Macintosh にコピーします

この手順は、「他社年賀状ソフトの住所録データを移行する」の場合と同様ですので、「4.Windows パソコンでデータを USB メモリにコピーする」(5 ページ) や「5.USB メモリから Macintosh にデータをコピーする」(6 ページ) の解説に従って操作してください。

4. CSV 形式のファイルを宛名職人で読み込む

- ① 宛名職人を起動します

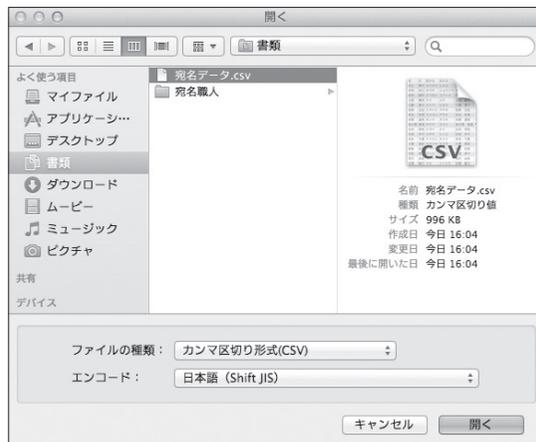
テンプレートセレクタが表示された場合、[閉じる] ボタンをクリックして、テンプレートセレクタを閉じてください。

② [ファイル] メニューの [開く] を選択します。

[開く] メニューを選択し、[開く] ダイアログが表示されたら、[ファイルの種類] ポップアップリストで“カンマ区切り形式 (CSV)” を選び、[エンコード] ポップアップリストで“日本語 (Shift JIS)” を選びます。

また、ファイルリストに“書類”フォルダの内容を表示させます。

ファイルリストに、USB メモリからコピーしたファイルが表示されます。



③ USB メモリからコピーしたファイルを選びます

USB メモリからコピーしたファイルを選び、[開く] ボタンをクリックすると、[カンマ・タブ区切り形式読み込み設定] ダイアログが表示されます。

[カンマ・タブ区切り形式読み込み設定] ダイアログで、読み込むファイルの項目と、宛名職人の住所録の項目の対応を割り当てます。

ファイルのデータが正しく表示されない場合は、[読み込むファイルのエンコーディング] リストから文字が正しく表示されるエンコードを選択します。

手順の詳細はユーザーズマニュアルの「他社の宛名ソフトの住所録を使用したい」を参照してください。

割り当てが完了したら [実行] ボタンをクリックすると、住所録データが読み込まれます。



④ 読み込んだ住所録を保存します

[ファイル] メニューの [保存] を選ぶと、[保存] シートダイアログが表示されます。

[名前] にファイル名を設定し、保存場所を確認して、[保存] ボタンをクリックしてください。

住所録データがファイルに保存されます。